

令和7年度指定管理者業務モニタリング評価表

施 設 名	豊橋市校区市民館50館
所 在 地	豊橋市仁連木町15ほか49校区市民館
指 定 管 理 者	東田校区市民館運営委員会ほか49校区市民館運営委員会
指 定 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
担 当 課	市民協創部市民協働推進課(0532-51-2484)
令和6年度指定管理料 (決算)	112,386千円
令和7年度指定管理料 (決算見込)	126,043千円

項 目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書に基づき適正に行われている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	事業計画書のとおり設置目的に沿った事業が実施されている。また、地域講座を実施した。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	仕様書及び事業計画書のとおり人員配置がされており、市民活動への相談業務に対応できる体制となっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	令和6年度から開始した地域講座の事例を説明し、校区市民館において地域内の人材発掘について研修を行った。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書の個人情報保護の規定に基づき、適正に個人情報が管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	避難訓練（年2回）を行っている。				
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	公平な対応をしている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。 (利用状況を数値化して令和6・7年度を比較)		R5年度	R6年度	R7年度	比較(R7-R6)
			開館日数	360日	359日	359日	0日
			利用者数				
			a.利用者数	853,180人	872,310人	891,780人	19,470人
			b.うちコミュニティ利用者数	678,189人	709,438人	723,293人	13,855人
			地域講座の実施など、継続利用に限らず、新規の利用者が増えるような工夫が利用者の増加につながったと考える。				
	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	校区市民館運営委員会を定期的に開催し、運営上の問題点や改善すべき点を検討するとともに地域スタッフ会の中で他館と情報交換を行うことでより良いサービスの提供に努めた。				
	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	利用者アンケート 大変満足 79.9% ほぼ満足19.6% やや不満0.4% 大変不満0.1% アンケート結果を分析すると、大変満足・ほぼ満足が99.5%であり、利用者の満足度は高いものと思われる。				
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容			対応	
いつも笑顔で挨拶して下さって気持ちよく使用できます。							
全体的に老朽化が進んでいるので建て替え希望			改良保全を順次対応中				
		トイレをすべて洋式にしてほしい			改良保全の際に、地元の意見をヒアリングし希望に応じて対応している		
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適正かつ迅速に対応している。					

管理 経費 等 の 収 支 状 況 等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。また、指定管理業務とその他業務を区別し適切に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	概ね収支計画書どおりの収支状況となっている。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	126,043千円	指定管理事業費	123,465千円
			利用料金収入			
			自主事業収入			
	その他収入		25,156千円			
		収支差額		27,734千円		

指定管理者の提案事業の実施状況	なし
-----------------	----

当年度の対応方針	別表のとおり
----------	--------

指定管理者の自己評価	・地域コミュニティの拠点施設として、地域活動の活性化に向け、市と締結した基本協定に基づき、適正に管理することができた。 ・地域講座を実施するうえで、利用率向上につながるよう積極的に利用者に対して声かけなどを行った。 ・校区の行事や会議、部屋の予約状況をホームページに記載し、ホームページの内容の充実を図った。 ・校区市民館のPRのため、市民館だよりの作成や、二次元コード付きの市民館カードを作成し周知を図っている。
------------	---

総合評価	令和7年度の指定管理料については、事業計画書、協定書、仕様書等に基づき適正に管理されている。 職員の対応については、利用満足度調査結果のとおり、利用者への対応も適正・迅速に対応しており、職員について市民の利用満足度が非常に高い点があげられる。 また、ホームページでは市民館の部屋予約状況や各館の特色を活かした情報を発信している。より多くの人に閲覧してもらえるよう市民館だよりに二次元コードを掲載したり、二次元コード付きの市民館カードを作成・配布したりするなど、ホームページへのアクセス促進に取り組んでいる。 古くなった備品の取替えを行うとともに、館内利用の注意事項や利用後の清掃に関する掲示を行い、利用者が気持ちよく利用できるよう施設環境の充実に努めていることは評価できる。 結果、コミュニティ活動拠点としての役割を果たすことに繋がっている。
------	---

次年度の対応方針	校区市民館は自治会、PTAなど各種団体及び自主グループの活動の場として、地域に根付いた重要施設であり、引き続き利用者へのサービス向上を図るとともに、さらなる内容の充実を図っていき、利用者数の拡大を目指していきたい。 また、地域による施設運営管理のメリットを活かした取組みが拡大することを期待したい。
----------	--